

令和6年2月市議会 総務委員会資料

第6号議案 令和6年度長崎市一般会計予算

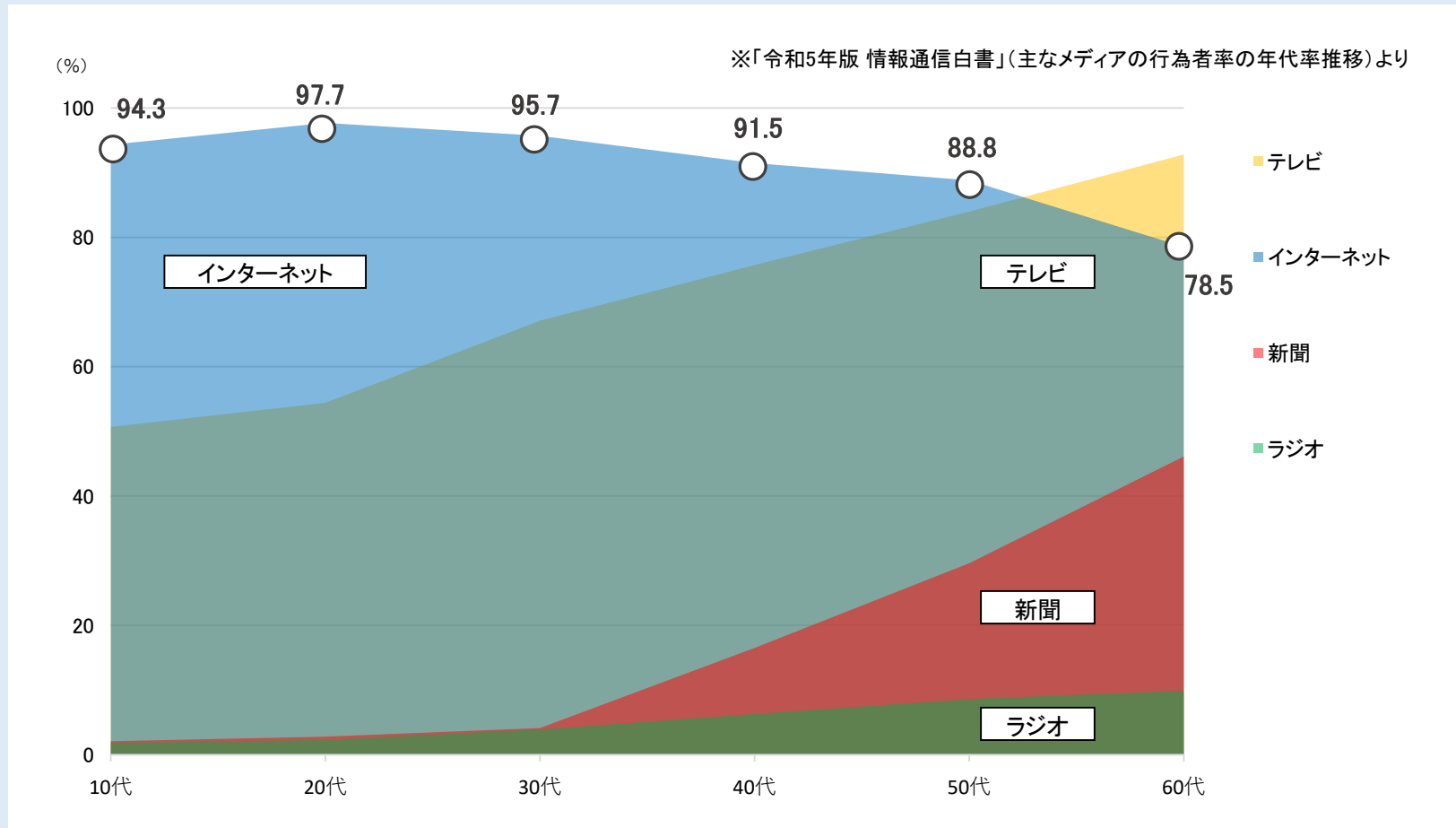
目次	ページ
【2款 総務費 1項 総務管理費 2目 広報広聴費】	
情報通信媒体の利用状況	2
1 広報広聴推進費	
4 インターネット情報発信費	4
1 広報戦略推進費	13
【2款 総務費 1項 総務管理費 9目 国際化推進費】	
1 国際化推進費	
4 子どもゆめ体験費	29
2 都市間交流推進費	
1 都市提携及び親善交流費	34

秘書広報部

令和6年2月

情報通信媒体の利用状況

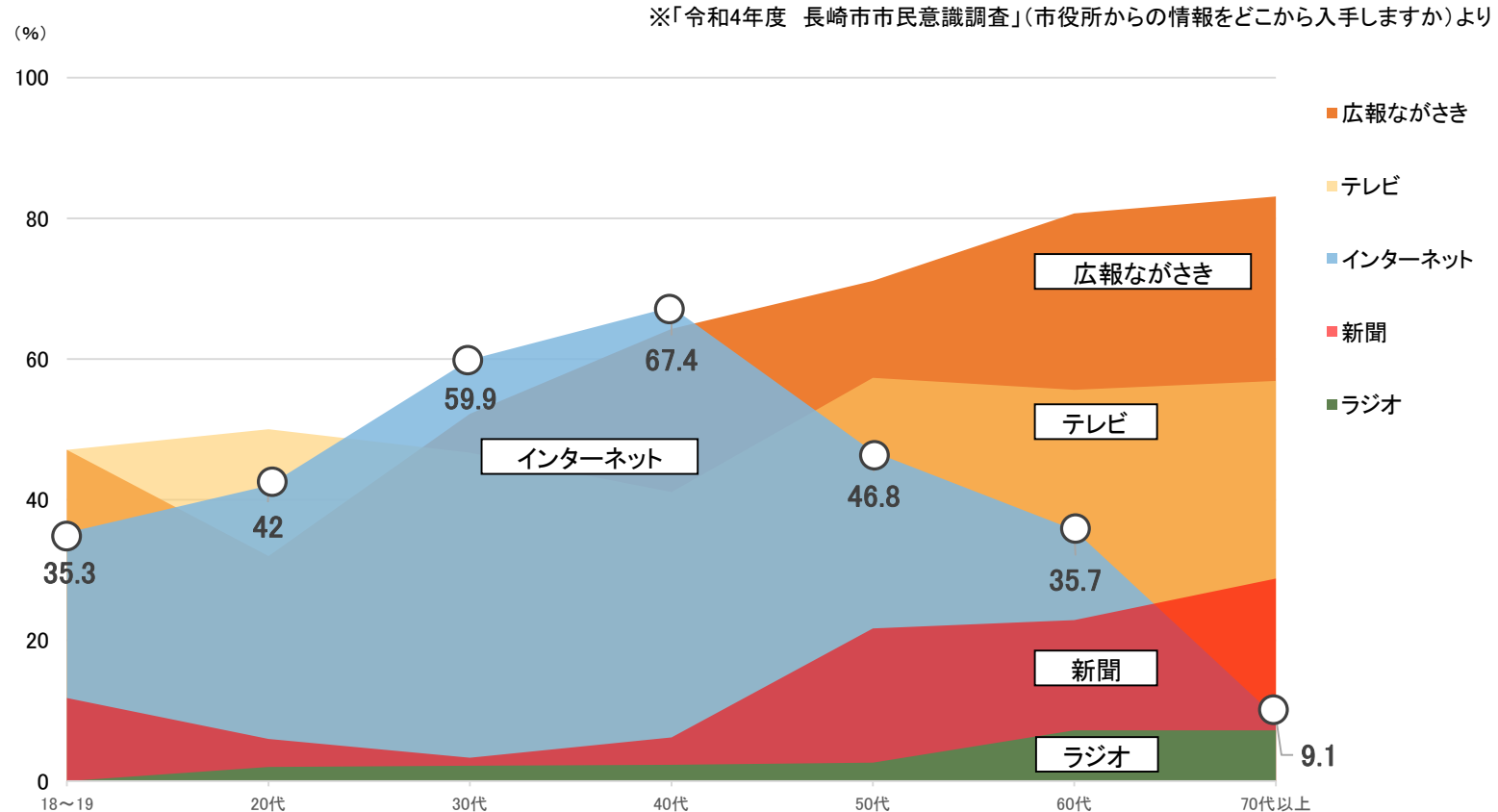
主な情報通信媒体の年代別の利用状況



- ・世代を通じて、特にインターネット・テレビを通じた情報収集の割合が高い
- ・今後、インターネットを通じた情報発信がこれまで以上に求められる

情報通信媒体の利用状況

市役所からの情報をどこから入手するか



・長崎市のお知らせや情報を知るために、インターネット媒体の利活用は進んでいない

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
112～113	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-4	インターネット情報発信費	46,070 千円

1 概要

インターネットの即時性などを活かして、市内外の皆さんに市政の情報や取り組み、長崎市の魅力などを分かりやすく伝える。

2 事業内容

(1) 市公式ホームページのリニューアル 41,056千円

(6～12ページ参照)

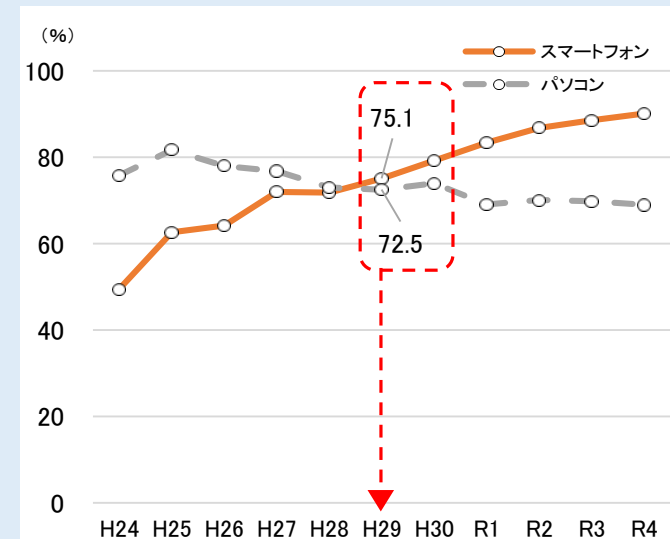
現在の公式ホームページは、前回のリニューアル(平成24年度)から10年以上が経過している。スマートフォン対応や検索機能などの利便性や操作性に係る機能が更新されていないため、すべての人が使いやすく、分かりやすいホームページを目指し、令和7年3月(予定)からリニューアルする。

(2) 市公式ホームページの管理 2,574千円

既存ホームページのサーバ借り上げ、保守・管理

(3) 記者会見動画の配信 2,440千円

定例会見や臨時会見の撮影・編集など



インターネットを利用する際の利用機器の割合
「令和5年版 情報通信白書」より

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
千円 46,070	千円 20,528	千円 —	千円 —	千円 443	千円 25,099

※1 デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)

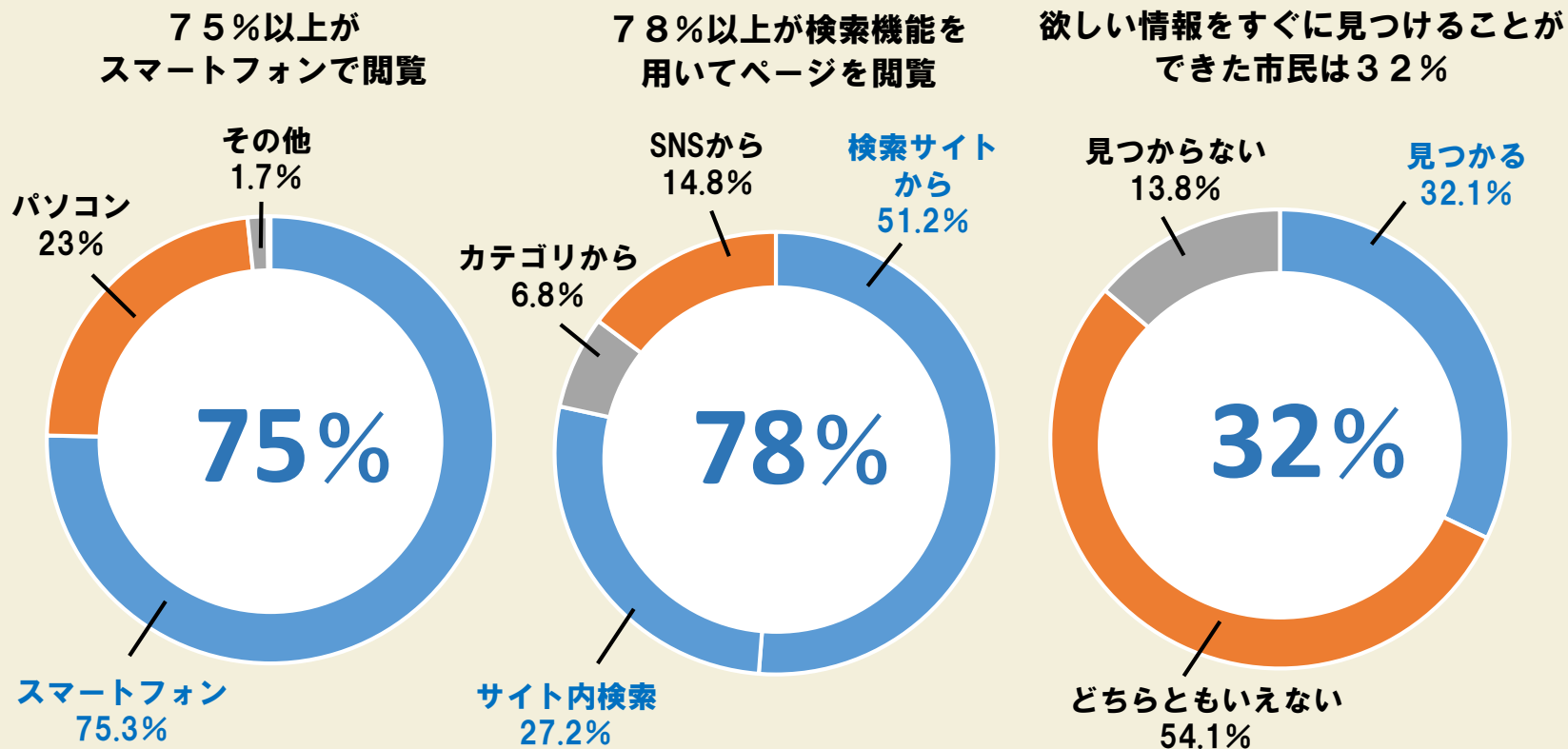
※2 広告掲載料(バナー広告)

1 現状

現状

市公式ホームページの主な利用状況

※令和4年度市ホームページ利用状況調査より



市公式ホームページのリニューアル

2 対応方針

問題

スマートフォンで
ページが見にくい

検索しても欲しい情報が
見つけにくい

階層が深い、
分類が分かりにくい

対策

利用媒体に応じて、
表示デザインを
自動的に切り替え
(8ページ)

新たな機能を追加し、
検索機能を充実
(9ページ)

分かりやすく探しやすい
分類に見直し
(10ページ)

効果

ホームページが
使いやすく、見やすい

知りたい情報が
探しやすくなる

迷わず情報に
たどり着く

目標

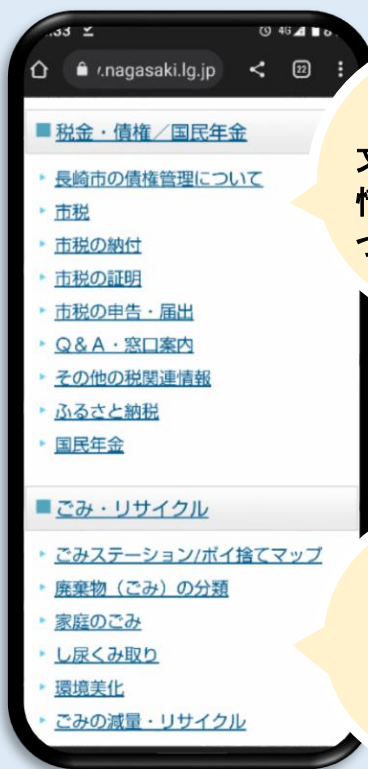
長崎市の取り組みやお知らせ、魅力などのさまざまな情報が探しやすい利用しやすい

3 内容

(1) 利用媒体に応じて、表示デザインを自動的に切り替え

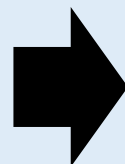
⇒「使いやすく、見やすい画面で、操作性や視認性が向上」

長崎市

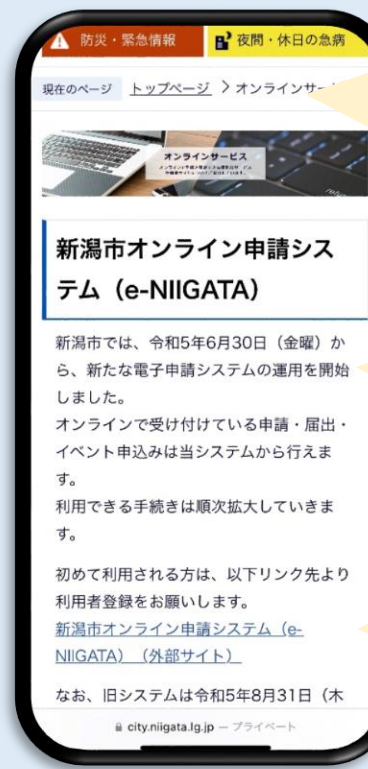


文字が多い。
情報のイメージが
つきづらい

行間が狭い。
ミスタッチが
多い



(例)新潟市



特にスマートフォン
での見やすさに配慮。
媒体に合わせて
デザインを最適化

画像を用いて、
情報をイメージ化

文字ポイントや
フォント、行間など
を見やすく整理

3 内容

(3) 分かりやすく探しやすい分類に見直し

⇒ 「迷わずに知りたい情報にたどり着けることで、利便性が向上」

長崎市



どのジャンルに
ほしい情報がある
か分かりにくい



(例)堺市






具体的なため、
イメージしやすい

必要最小限の
カテゴリを
ページに表示

その他の分類は
詳細ページに格納

市公式ホームページのリニューアル

4 スケジュール(予定)

	R6.4月～6月	7月～9月	10月～12月	R7.1月～3月
公募型プロポーザル				
構築(システム開発・ページ移行・テストほか)				
運用開始				

5 事業費

項目	金額
サイト構築関連(設計・デザイン、システム開発、個別ページのテンプレート(雛型)の作成など)	17,171千円
サーバー関連(サーバーの初期設定、情報セキュリティ対策など)	2,488千円
データ移行関連(約10,100ページ分に関する移行・チェック・修正など)	16,565千円
外部システム導入関連(音声読み上げ機能、外国語翻訳機能など)	1,845千円
その他(運用マニュアル作成、ページ作成担当職員に対する研修など)	2,987千円
合計	41,056千円

市公式ホームページのリニューアル

6 他都市の状況

項目	長崎市	山形市	堺市	新潟市	富山市
リニューアル	令和6年度(予定)	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
人口(R6.1現在)	392,685人	241,802人	810,848人	766,797人	406,093人
導入費用	41,056,000 円	42,900,000 円	41,100,000 円	47,050,000 円	36,960,000 円
運用費用(年額)	6,696,000円	8,580,000 円	10,685,480 円	11,042,000 円	4,200,000 円

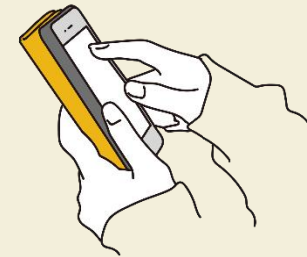
予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
112～113	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-1	広報戦略推進費	20,281 千円

1 概要

「全員広報」を基本姿勢とする「広報戦略」に基づき、組織的・戦略的な広報を行うことで、多くの皆さんに市政情報などを分かりやすく効果的に伝える。

2 事業内容

- (1) 広報戦略に基づく情報発信の強化 16,438 千円
- ア 市公式LINEのリニューアル (3,426千円) (15～20ページ参照)
 - イ ショート動画を活用した情報発信 (4,099千円) (21～25ページ参照)
 - ウ シティプロモーションの刷新 (8,913千円) (26～28ページ参照)



- (2) 職員の意識改革・人材育成 2,498千円
- 庁内の広報相談に対する専門家支援や職員研修などの実施



- (3) その他(賃借料、消耗品費など) 1,345千円

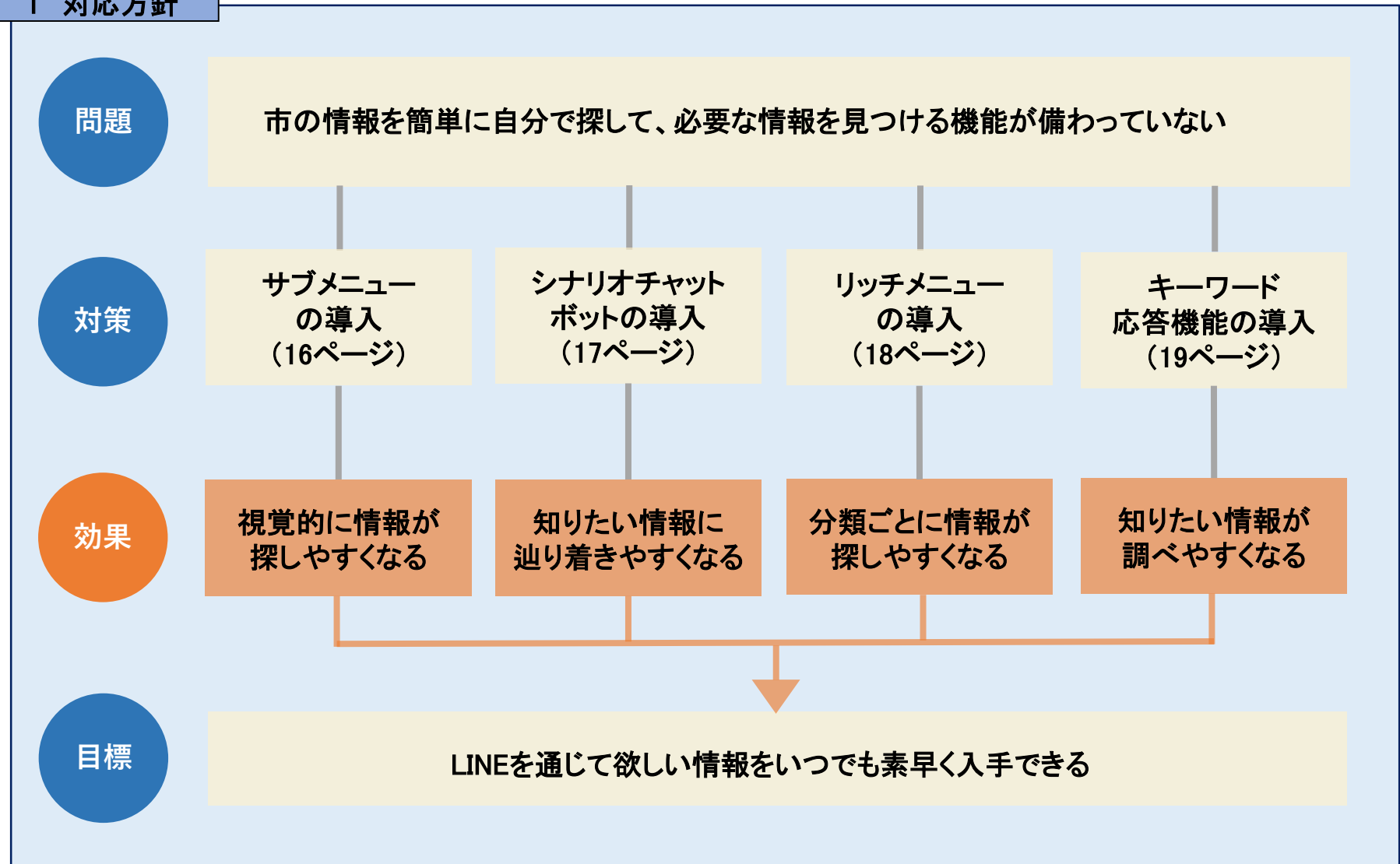
3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 20,281	千円 8,246	千円 —	千円 —	千円 —	千円 12,035

※デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

市公式LINEのリニューアル

1 対応方針



2 内容

(1) サブメニューの導入 ⇒ 「分かりやすいピクトグラムで視覚的に情報が探しやすくなる」

(例)福岡市



ピクトグラム
などで、視覚的
に分かりやすく

よくある手続きを
分類化(サブメ
ニュー化)する

2 内容

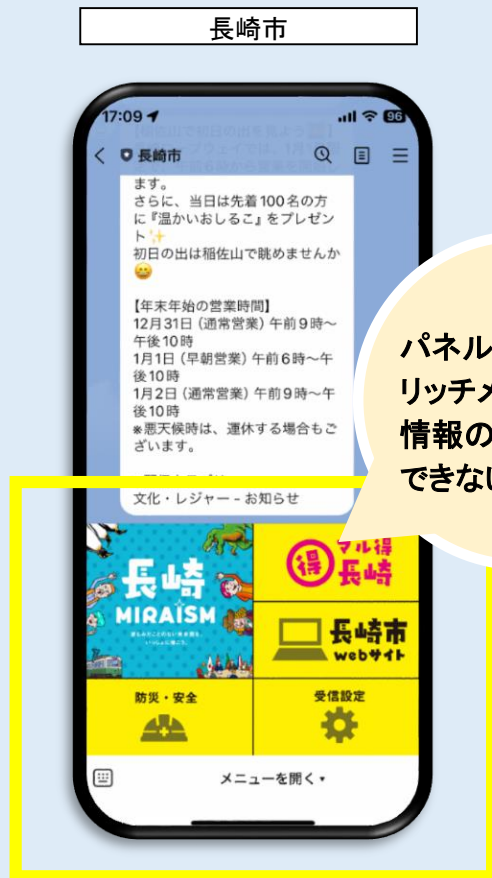
(2) シナリオチャットボットの導入 ⇒ 「選択肢を選ぶことで、知りたい情報に辿り着きやすくなる」

(例) 福岡市



2 内容

(3) リッチメニューの充実化 ⇒ 「一覧性や検索性が向上し、情報が探しやすいくなる」



2 内容

(4) キーワード応答機能の導入 ⇒ 「回答の自動表示で、知りたい情報が調べやすくなる」



LINEの
トーク画面に
ごみの名前を
入力可能


キーワードに
応じた回答を表示

あいまい検索にも対応し、
漢字やひらがな、
カタカナでも
同一キーワードとして
認識可能



市公式LINEのリニューアル

3 スケジュール

	R6.4月～6月	7月～9月	10月～12月	R7.1月～3月
公募型プロポーザル				
シナリオ・デザイン等作成				
運用開始				

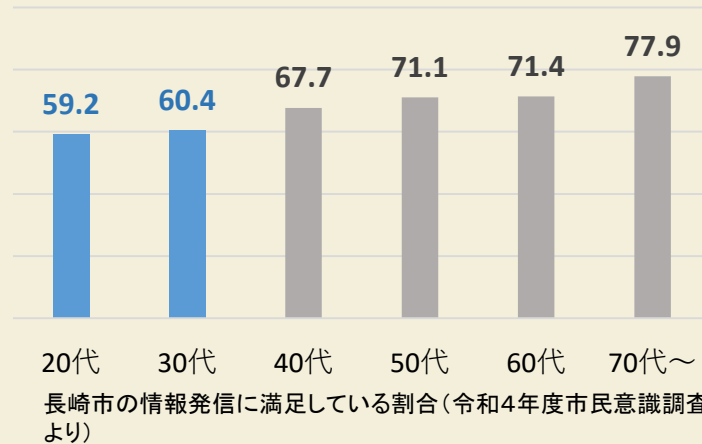
4 事業費

項目	金額
構築・導入費(サーバー構築、システムのインストール、チャットボットの設定等)	1,502千円
シナリオ作成支援・サブメニュー等デザイン制作費	1,824千円
ポスター・チラシ等作成費	100千円
合計	3,426千円

1 現状

現状

若者に情報が効果的に伝わっていない

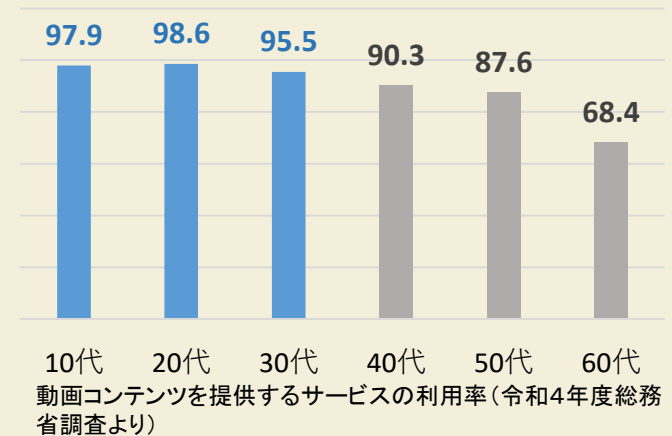


インターネットのサービス利用時間

1位 動画を見る **2位** SNSを見る・書く

インターネットを通じたサービス利用における利用時間
(令和4年度総務省調査より)

10～30代の動画コンテンツの利用は95%以上



60秒以内で内容を簡潔にまとめた「ショート動画」は人気コンテンツ

ICTサービス及びコンテンツ・アプリケーションサービス市場の動向(令和5年版情報通信白書より)

2 対応方針

問題

- ・若い世代に長崎市の魅力や取り組みなどが伝わっていない
- ・長崎市の情報を若い世代へ効果的に届ける手段が不足している

対策

- ・若い世代の興味や関心が高いテーマに関連した**市の魅力や取り組み等を紹介する動画を制作し、YouTubeやSNSで発信**する
- ・動画においては、YouTubeやInstagramなどで若い世代が日常的に閲覧している「**ショート動画**」で**短く分かりやすいインパクトがある内容に編集**して発信する
- ・動画制作にあたっては、職員も受託者からノウハウを学び、広報スキルの向上に努め、職員においても効果的なショート動画の制作・発信を行う

目標

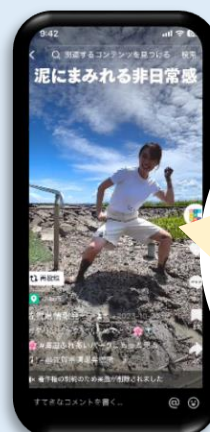
若い世代が、長崎市への興味や関心を高めたり、愛着を深めたりしている

3 内容

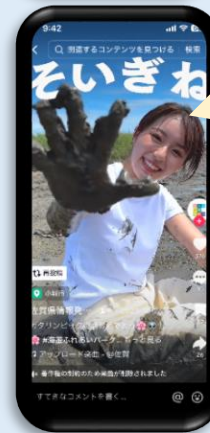
(1) ショート動画で分かりやすく伝える（佐賀県の事例）



興味・関心を
引くような企画を
立案する



見た人がSNS上で
シェアしたくなるような
動画を制作する



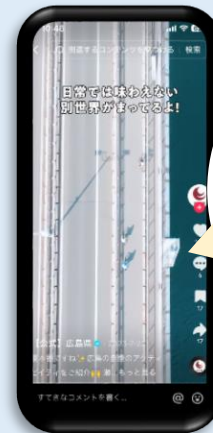
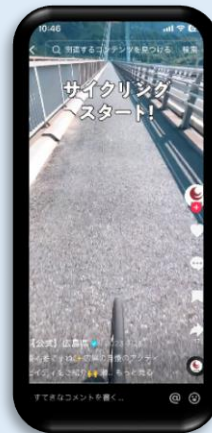
テロップを多用し、
面白く、楽しい
内容にする

3 内容

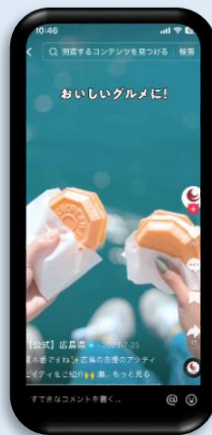
(2) ショート動画で分かりやすく伝える（広島県の事例）



若い世代の
興味関心が高い
テーマをもとに
企画を立案する





様々なシーンを
動画に組み込み、
飽きさせない内容
にする



興味を持った人が、
行動してみたいなる
ような内容にする

ショート動画を活用した情報発信

4 スケジュール

	R6.4月～6月	7月～9月	10月～12月	R7.1月～3月
公募型プロポーザル				
動画制作及びSNS発信				

5 事業費

項目	金額
企画・出演料(12本)(動画のシナリオ作成費、出演者の出演料など)	1,155千円
撮影・編集(12本)(動画撮影、動画編集費など)	2,640千円
投稿支援(12本)(宣伝用画像及び投稿文案の作成など)	304千円
合計	4,099千円

シティプロモーションの刷新

1 現状・対策など

現状

現在のシティプロモーション「長崎MIRAISM」で紹介している
9つの事業のうち、半分以上の整備が完成しており、
現在のシティプロモーションは次のステップへ進む時期に来ている

対策

事業の内容やスケジュールなどハード面を中心とした内容から、**新たなシティプロモーション展開に刷新する**

目標

- ・新しい長崎のまちの方向性を市民と共有する
- ・長崎の魅力が市内外に伝わる



2 刷新イメージ

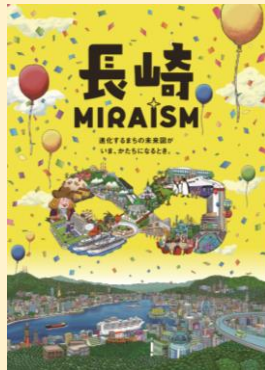
シティプロモーション

都市のイメージの向上

まちへの愛着や誇りを高める

長崎市の認知度を高める

長崎ミライズム(R3年度～)



「100年にいちどの長崎」をコンセプトに、出島メッセや新長崎駅、スタジアムシティなど、長崎のまちに新たに加わる魅力的な9つの事業を紹介







新たなコンセプトで、
長崎の魅力や特徴などを紹介

(R6年度)

- ・ 新たなコンセプトの検討
- ・ コンセプトに基づく
広報ツールの制作
(動画、ホームページ、ロゴなど)

シティプロモーションの刷新

3 スケジュール

	R6.4月～6月	7月～9月	10月～12月	R7.1月～3月
テーマ・コンテンツ内容等の検討、及び仕様書等作成				
公募型プロポーザル				
WEB・動画などの制作				
公開				

4 事業費

項目	金額
ロゴ制作(メインロゴデザインやキャッチコピー立案制作)	495千円
ホームページ制作(全体デザイン、サイト設計、システム構築など)	3,465千円
コンセプト動画制作(ホームページやSNS等で発信するプロモーション動画撮影編集など)	3,025千円
その他(PR用チラシ印刷、管理費など)	1,928千円
合計	8,913千円

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
122～123	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	1-4	子どもゆめ体験費	17,830 千円

1 概要

次世代を担う長崎の子どもたちを姉妹都市・市民友好都市に派遣し、現地の人々との交流を通じて「個性輝く世界都市」としての**人的ネットワークを拡大**するとともに、文化・習慣などを肌で感じることで、**国際性を有するグローバル人材の育成**を図る。

2 事業内容

(1) 参加要件等

- ア 対象 市内在住の中学生16人(予定)
- イ 選考方法 作文審査及び個人面接
※令和5年度の応募状況 127人(倍率7.9倍)
- ウ 参加料 1人あたり6万円(予定)

(2) 現地研修

- ア 派遣都市 アバディーン市・ロンドン市(イギリス)
- イ 派遣日程 令和6年8月21日(水)～29日(木) 7泊9日(予定)



1・2日目	移動(長崎～アバディーン市)
3～5日目	アバディーン市役所表敬、トーマス・グラバー関連施設訪問、ホームステイ(3泊4日)
6・7日目	移動(アバディーン市～ロンドン市)、在英国日本国大使館訪問等
8・9日目	移動(ロンドン市～長崎)

(3) 全体の流れ

互いの
ことを
知る

国際理解研修
(7月～8月)

- 訪問都市について学ぶ
(文化・特徴・長崎との関わり 等)
- 長崎について学ぶ
(国際交流、平和、歴史 等)
- 英語で伝える力を高める 等



肌で
感じる

現地研修
(8月)

- ホームステイ
- アバディーン市役所表敬
- トーマス・グラバー関連施設訪問
- 在英国日本国大使館訪問 等



考えを
伝える
①

成果発表
(10月)

- 現地研修の振り返り
- あじさいEnglishスピーチコンテスト
において英語で発表(予定) 等



視野を
広げる

【新規】
Meet the Expert 研修
(12月予定)

- JICAなど国際機関との連携講座
(多文化共生、国際協力、SDGs 等)
※希望者のみ参加



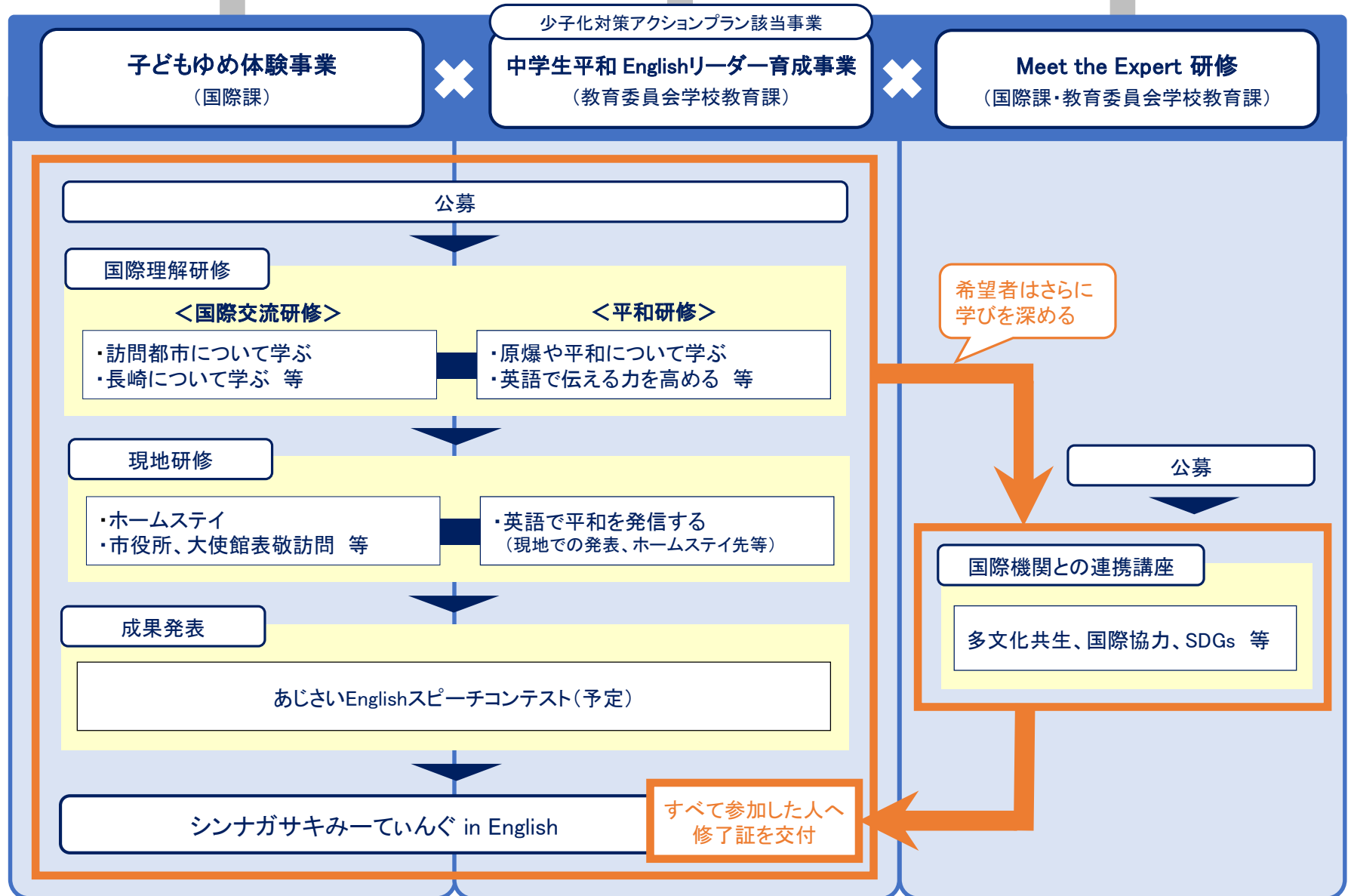
考えを
伝える
②

【新規】
市長との意見交換
(1月予定)

- シンナガサキミーティング in English
(これまでの学びから得たことをテーマに
市長と英語での意見交換を行う)



【参考】「国際感覚豊かな子どもを増やす」ための連携イメージ



3 事業費

項目	金額
現地研修費	
旅行業務委託料	17,243千円
引率職員日当	211千円
ホストファミリー謝礼金	144千円
記念品、海外携帯電話・ルーター費用、現地タクシー代	185千円
国内研修費	
講師謝礼金、施設訪問に係る交通費	22千円
その他消耗品等	25千円
合計	17,830千円

4 財源内訳

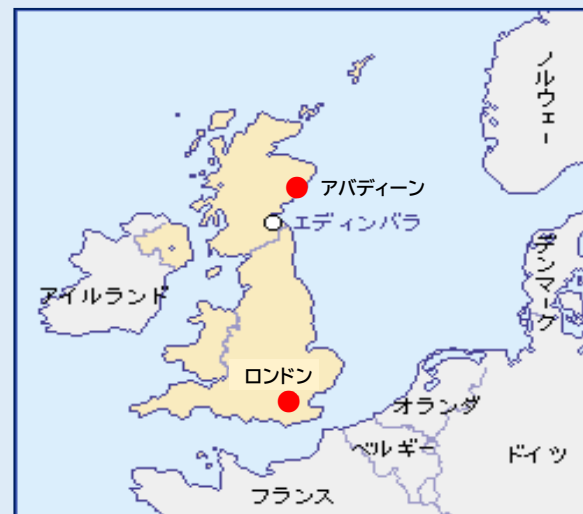
事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 17,830	千円 —	千円 —	千円 —	千円 17,830	千円 —

※文化国際交流基金繰入金 10,634千円
 市町村振興事業補助金受入金 6,236千円
 子どもゆめ体験参加料 960千円(60千円/人)

5 市民友好都市・アバディーン市の概要

- (1) 人口 約22万人
- (2) 面積 188.46平方キロメートル
- (3) 市民友好都市提携日 平成22(2010)年7月12日
- (4) 提携のきっかけ

長崎市とアバディーン市は日本の近代化に多大な貢献をしたトーマス・グラバー氏との歴史的なつながりがあり、両市のロータリークラブが平成8(1996)年よりトーマス・B・グラバー奨学生の相互派遣を行うなど市民が主体となった実質的な交流が行われていることから、長崎市から提案し、締結。



6 参加者や保護者の声

【参加者の声】

- ・中学生時代に、海外を体験したことによって、高校進学など自分の進路の選択肢が広がった。
- ・語学への関心が高まり、語学に力を入れている高校や大学を選んだ。
- ・被爆の実相を世界に広めたいと思い、高校生1万人署名活動やピースボランティアとして活動している。
- ・視野が広がり、将来の夢が明確になった。

【保護者の声】

- ・世界を身近に感じて、国際的な事柄に興味を持ったと同時に、故郷・長崎の良さを再認識できたようだ。中学生という多感な年頃に世界に触れることの意義を強く感じた。



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
122～123	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	2-1	都市提携及び親善交流費	6,536 千円

1 概要

姉妹(友好)都市、市民友好都市及び国際交流に係る団体等と交流を深め、**都市間ネットワークを強化**する。

2 事業内容

(1) ヴェルツブルク市(ドイツ)訪問 2,594千円

ア 概要

核不拡散条約(NPT)再検討会議第2回準備委員会がジュネーブ市(スイス)で開催され、7月24日以降に市長が出席を予定していることから、この機会を捉えて隣国の市民友好都市・ヴェルツブルク市を訪問するもの。

イ 日程 令和6年7月21日(日)～23日(火)

ウ 訪問者 市長、随行職員

エ 目的

(ア) シーボルトを通じた都市間ネットワークの強化

令和5年10月、シーボルト来日200周年記念事業参加のため、多年にわたり長崎市シーボルト記念館の運営に貢献し、令和5年に市政功労表彰を受けたドイツ・シーボルト協会が来崎したことから、その返礼を行うとともに、シーボルトを通じたさらなる関係強化を図る。

(イ) 平和を通じた都市間ネットワークの強化

令和7年に長崎市で開催が予定されている平和首長会議総会への参加を呼びかけるとともに、原爆や空襲に関するパネル展等を実施することで、両市の核兵器廃絶への思いを再確認し、平和を通じたさらなる関係強化を図る。



ヴェルツブルク市役所



シーボルト博物館

オ スケジュール(予定)

7月21日(日)	移動(長崎～フランクフルト空港)
7月22日(月)	移動(フランクフルト空港～ヴェルツブルク市) ・ヴェルツブルク市長表敬訪問 ・原爆や空襲に関するパネル展等イベント開催
7月23日(火)	・ドイツ・シーボルト協会訪問 移動(ヴェルツブルク市～フランクフルト空港～ジュネーブ市)



原爆展パネルイメージ



空襲展パネルイメージ

(2) その他の親善交流 3,942千円

姉妹都市等からの訪問団受入れに伴うレセプションや車両借上料等の経費

ア セントポール市(アメリカ)訪問団受入れ(3月予定) 890千円

イ ヴォスロール村(フランス)訪問団受入れ(時期未定) 858千円

ウ 突発的な対応を要する訪問団の受入れ等、姉妹都市等との交流に係る経費 2,169千円

エ 姉妹都市委員会負担金 25千円

3 事業費

項目	金額
ヴェルツブルク市訪問	
旅費(市長、随行職員、空港への送迎)	2,464千円
記念品、海外携帯電話・ルーター費用、現地タクシー代	130千円
その他の親善交流	
セントポール市(アメリカ)訪問団受入れ	890千円
ヴォスロール村(フランス)訪問団受入れ	858千円
突発的な対応を要する訪問団の受入れ等、姉妹都市等との交流に係る経費	2,169千円
姉妹都市委員会負担金	25千円
合計	6,536千円

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 6,536	千円 —	千円 —	千円 —	千円 5,366	千円 1,170

※文化国際交流基金繰入金 4,392千円
市町村振興事業補助金受入金 974千円

5 市民友好都市・ヴュルツブルク市の概要

- (1) 人口 約13万人
- (2) 面積 87.63平方キロメートル
- (3) 市民友好都市提携日 平成25(2013)年4月17日
- (4) 提携のきっかけ
 - シーボルトの生誕地であり、日本から持ち帰った資料がシーボルト博物館で数多く保管・展示されている。
 - シーボルトの出身大学であるヴュルツブルク大学と長崎大学との間で交換留学生の相互派遣が行われており、市民レベルでの人的交流も行われていることから長崎市から市民友好都市提携を提案。
- (5) その他
 - 第二次世界大戦時に街の9割が破壊されるほどの空襲を経験した都市であり、世界に核兵器廃絶を呼びかける平和首長会議へも加盟。
 - 平和祈念式典へ2回参列
(平成27(2015)年、平成29(2017)年)

